

協働のまちづくりフォーラム

# スマイルフル

～つながりづくりを通して～



周布まちづくりセンター

# 周布まちづくりセンター



周布地区（11月末現在）  
人口；4,694人  
世帯数；2,302世帯

センター長 1名  
主事 3名

運営推進委員 13名  
（男6名・女7名）

運営推進委員 相談役  
周布小・第三中学校 校長

## 【主な業務】

- センター事業企画立案
- センター施設利用者管理

- 小中学校共育支援
- 地区まちづくり委員会事務局

- 浜田市行政窓口対応

証明書交付  
敬老福祉乗車券交付  
ボランティアごみ袋配布  
ごみカレンダー配布  
し尿旗配布 など

運営推進委員

運営推進委員

13名 (男6名・女7名)

各団体の代表者ではなく、各地域から選出している。

事業の周知・集客をねらう

**広がりをづくり**

センターとしての想い…

『活動を通して地域住民に「学び」「集い」「つながり」を実感してもらいたい！！』

つながりづくり

子どもと大人の  
世代間のズレ

地域住民にとって、  
きっかけが必要

地域行事に関心がない

これらの課題をどうクリアしていくのか？



子どもと大人をつなげる  
～センター活動～

小学生や中学生が地域で活躍してくれたら…

小学生  
・  
中学生  
それぞれ何ができるか考える

【小学生】 → “子ども未来チャレンジ”

★自分たちの“やりたいこと”を実現させよう！



【中学生】 → “ボランティア活動”

★センター各種事業への関わり

★まちづくり委員会の活動への協力 → グリーナー・パットフェスティバルin周布



子どもと大人をつなげる  
～センター活動～

【子ども未来チャレンジ】

令和4年	5・6年	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お店屋さんをやりたい グリーソフィスタで出店予定→中止</li> <li>○パンを作って販売したい 11/23（祝）開催</li> </ul>
令和5年	6年	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○BBQがしたい 8/22（火）実施</li> <li>○パン屋さんで資金作り 8/9（水）実施</li> </ul>
令和6年	6年	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○流れるプールに行きたい 7/31（水）実施</li> <li>○グリーソフィスタで出店（かき氷・射的） 8/24（土）開催</li> </ul>
令和7年	6年	3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お店さんと肝試し 7/27（日）サマフィスタにて実施</li> </ul>

中ボにお願い

子どもと大人をつなげる  
～センター活動～

【中学生ボランティア】

令和4年	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○浜田の海で遊ぼう (8/5)</li> <li>○グリーンカーペットフェスティバル (8/27) →中止</li> <li>○子どもみらチャレ (12/26)</li> <li>○書初め会 (1/5)</li> </ul>
令和5年	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グリーンカーペットフェスティバル (7/30)</li> <li>○マネーゲーム (8/3)</li> <li>○防災体験学習 (8/2)</li> <li>○海学 (8/8)</li> <li>○書初め会 (1/5)</li> </ul>
令和6年	13名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○海上保安部見学 (8/9)</li> <li>○センター壁飾り作り</li> <li>○グリーンカーペットフェスティバル (8/24)</li> <li>○防災教室 (11/16)</li> <li>○介護教室 (12/1)</li> <li>○書初め会 (1/6)</li> </ul>
令和7年	36名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サマーフェス (7/27) 事前準備・当日</li> <li>○グリーンカーペットフェスティバル (8/31)</li> <li>○芸能発表会 (11/30)</li> <li>○餅つき交流会&amp;大掃除 (12/25)</li> <li>○書初め会 (1/5)</li> </ul>







子どもと大人をつなげる  
～センター活動～

子ども未来チャレンジ  
中学生ボランティア  
を通して…

## 子ども

- ☆「やりたいこと」を実現するために、どんなことが必要で、何をしないと  
いけないのかを考える“力”がついた。
- ☆自分だけの思いを尊重せず、友達の見解も聞き、みんなで  
活動していくことが必要だと いうことを学べた。
- ☆小学生や地域の大人と関わることで、人との“対話”の大切さを学べた
- ☆言われたことだけをするのではなく、自分から進んで出来ることを  
探し、動いていく。

## 大人

- ※言いたいことをグッとこらえること！忍耐力が必要だということ学ぶ（笑）
- ※新しい発想で物事に取り組んでいる姿が素敵
- ※若い人がいるだけで元気がもらえる。瞬発力があるので助かる。
- ※コミュ力が高いので、話をしていて楽しい

学校と地域をつなげる  
～コミスク～

【はまたっ子共育推進事業】

地域ボランティア数 延べ 約500名

周布小：年間約30回  
(1～6年(支援学級含む))  
三中：年間約10回  
登下校見守り活動

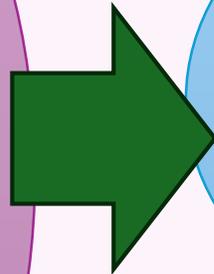
1年；さつまいも苗植え・芋ほり・昔遊び 2年；野菜の苗植え・地域探検  
3年；まつりと神楽 4年；川の学習 5年；田植え・稲刈り・家庭科支援  
6年；ミシン・夢に向かって・しめ飾り 支援；野菜苗植え・キャタピラ作り  
1年/防災学習 2年/ふるさと学習 3年/アジ料理・面接練習・SUN中トーク



周布小学校



第三中学校



まちづくりセンター



地域のみなさん

学校から依頼→学校と打合せ→ボランティアを募る→学校へ支援



次年度へつなげる

学校と振り返り←ボランティアと振り返り

# 学校と地域をつなげる ～コミスク～

楽しそう！！やめましょ！！

茶っ友隊ができるまで…

ある時…、周布小の校長先生が…



周布小の子ども達は、「見てほしい！聞いてほしい！認めてほしい！」子供たちがたくさんいます。地域の人たち、昼休みに学校来て子どもたちと遊んでくれんかな～。先生たちに職員室でコーヒー飲んでホッとする時間を！！

運営推進委員・  
民生児童委員に  
呼びかける



名称は、「お茶は飲まないけど茶飲み友達隊」→→→ 略して『茶っ友隊』



『茶っ友隊』の様子…

学校と地域をつなげる  
～コミスク～

周布小学校では、5月・11月に学校運営協議会があり、5月「地域も学校行事に関わる」、11月「あいさつができる子」として協議しました。

【PTA奉仕作業】



【地域住民6名】

【1・15 (い・いご) あいさつの日】



【中学生・周布地区民児協・周布まちセン】

学校と地域をつなげる  
～コミスク～

コミスクを通して…

子ども

- ・ 茶っ友隊の日を楽しみにしている
- ・ 笑顔が増えた
- ・ ポーズであいさつする子が増えた
- ・ 親近感が湧き、積極的に話す子どもが増えた
- ・ 自覚が芽生えた（1・15の日の中学生）

大人

- ・ 元気をもらえる！幸せを感じることができている
- ・ あいさつを返してくれると嬉しい♪
- ・ コミュニケーションをとるためにどうしようかと考え、自分の趣味や特技も増やそうと意欲がわく
- ・ どんなことをすれば喜んでもらえるかを考えることで、認知症予防にもつながっている

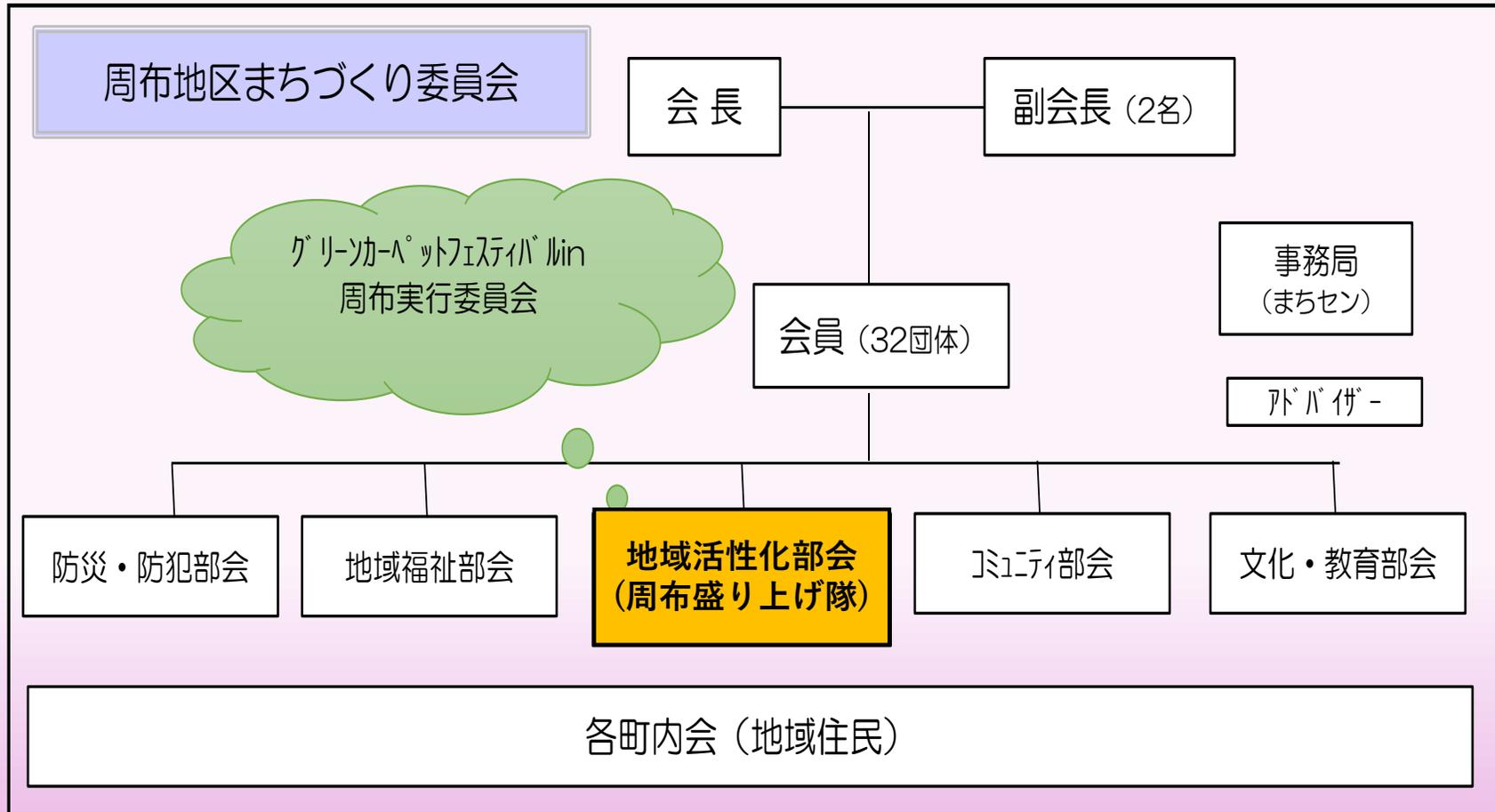
地域

- ・ 周布小だよりやセンターだよりで紹介し、参加者募集をかけて、参加者が増えた
- ・ 学校に関わることで、保護者と親しくなれる
- ・ 中学生と一緒にあいさつをすることで、小学生の目標となれている

地域とのつながり  
～地区まちづくり委員会～

# 【周布地区まちづくり委員会】

令和3年6月設立



令和2年度設立準備会を始める

※センターは事務局として、  
設立に向けて会を開催していく

令和3年度設立

※すべての運営を地域の方にしてもらう  
センターは、構成団体の一つとして在籍

令和4年度～

センター長として就任

※センターは事務局として全体の調整を図っている

※地域活動を担ってきた

「グリーンカーペットフェスティバル」

「地区民体育大会」は地域活動の取組として  
センターも共催し行っている

# 地域とのつながり

～地区まちづくり委員会～

## 【グリーンカーペットフェスティバルin周布】

平成21年に周布小の校庭に地域住民・児童・保護者・学校関係者で芝生を植えたことから、地域の方々にも芝生を活用していただき、地域と子どもたちの交流を深めることを目的とし平成22年より「グリーンカーペットフェスティバルin周布」が開催されるようになりました。

### PTA

学校行事（PTA活動）  
の一環としての取組

### 公民館 （まちセン）

公民館行事として  
学校・地域各種団体を  
巻き込んで取組

### 実行委員会

PTAOBを中心とし  
実行委員会を立ち上げ  
公民館は共催として、活動を協力

まちづくり委員会が立ち上  
がってからは、まちづくりの  
活動として実施





地域とのつながり  
~地区まちづくり委員会~

地区まちづくり委員会  
の活動を通して…

## 子ども

地元でお祭り（イベント）があるのがうれしい  
楽しい企画を考えてくれて思い出に残る  
頼りにされている・喜んでもらえる  
参加側から主催側で活躍できる場ができてうれしい

## 大人

子ども達に喜んでもらえるような企画を考えることがいい  
多くの企業・団体が関わってくれ、協力してくれる  
楽しそうな笑顔をみれることがうれしい

## 地域

世代を超えて地域に根付いたお祭りになりつつある

# 目指す姿

## 子ども

- ◎学年が上がるたびに積極的に地域と関わろうとする姿が見受けられる
- ◎ほめてもらおうと、やってよかった、次もほめられたいという気持ちにつながる（自己有用感）
- ◎地域外に出る子ども、休みの時に手伝えることがあったら手伝いますと言ってくれる（ふるさと愛）

## 大人

- ◎子どもたちと関わることで元気（パワー）をもらえる
- ◎町で見かけて声をかけてをもらえる（覚えてくれていることが嬉しい）
- ◎いつまでも元気でいたい、子ども達と関わりたいと思える（健康維持に努める）
- ◎自分たちの知識・技術（先人から引き継いできたもの）を伝えていきたいと思う人が増えた（伝承）

## 地域

- ◎若い人（地域住民）たち同士の出会い・つながりの場となった。新しい“輪”ができた
- ◎地域に活気が湧く（若者が出ると盛り上がる）

センターとしての想い…

『活動を通して地域住民に「学び」「集い」「つながり」を実感してもらいたい！！』

つながりづくり

子どもと大人の  
世代間のズレ

子どもと大人が  
対話できる場面づくり

地域住民にとって、  
きっかけが必要

学校や子どもたちとの  
関りをきっかけに

地域行事に関心がない

気軽に参加できる  
仕組みを作る

ご清聴ありがとうございました

